

一般社団法人宮崎県サッカー協会 2026年度 運営方針

2026年度に特に取り組むべき事項は、次の通りとします。

* 基本的には、全委員会を推進母体とします。

I 理念・社会的責任

(1) 健全なスポーツ文化の醸成

- ・あいさつ、清掃、礼儀を励行させる。
- ・リスペクトプログラムを推進し、あらゆる場面でフェアプレーを実現する。
- ・立ち居振る舞いに努めるとともに、暴力・暴言の無いサッカー界を目指す。

(2) 平和への取り組み

- ・一般社団法人九州サッカー協会の指針に沿った平和活動に取り組む。沖縄県慰霊の日（6月23日）、広島原爆の日（8月6日/8時15分）、長崎原爆の日（8月9日/11時02分）、終戦記念日（8月15日）、東日本大震災（3月11日）に行われる県サッカー協会主催大会において県協会旗を半旗とし、1分間の黙祷を行う。

(3) 地域社会への貢献

- ・新富町フットボールセンターを積極的に活用し、施設全体の賑わいを創出するとともに、地域活性化に寄与する。

II 普及・競技力向上

(1) 競技人口の拡大

- ・全てのカテゴリーにおいて、チームと競技者及びサッカーファミリーの増加を図る。
- ・未登録チーム及び未登録選手の解消に努める。

(2) 競技力向上目標

- ・国スポ九州ブロック大会を3種別（成年・少年・女子）ともに突破する。
- ・本国スポにおいてベスト4以上を目指す。

(3) 多様なサッカーの推進

- ・女子、キッズ、フットサル、ビーチサッカー及び障がい者サッカーの普及、振興を図る。

III 人材育成

(1) 指導者育成

- ・指導者の育成と質の向上を図り、指導者として相応しい指導方法の徹底に努める。

(2) 審判員育成

- ・審判員、審判インストラクターの育成と質の向上を図る。
- ・フットサル、ユース、女子の審判員の育成を推進する。

(3) 大会運営人材育成

- ・マッチコミッショナー並びにウェルフェアオフィサーを育成し、大会運営の充実を図る。

(4) 委員会体制

- ・各委員会の組織整備と人材育成を図る。

IV 組織連携・広報

(1) 組織間連携強化

- ・各委員会間の連携を密にし、普及と強化の方向を共有する。
- ・地区サッカー協会との連携を更に強め、事業の拡大と充実を図る。
- ・トップリーグ等加盟チームと連携し、地域社会に貢献する。

(2) 広報活動の充実

- ・ホームページの活用など、あらゆる機会を通じて広報活動を行う。